

コースタイム	場所	標高	実標高	備考
6:00	いわかがみ平	1110m		
6:27~6:32	休(ガスに突入前)	1250m		中央コースを登る
6:55	森林保護の立札	1395m		
7:30~7:50	栗駒山山頂	1600m	1627m	ガス・強風:寒い
8:03	東栗駒山分岐	1535m		
8:20	裏掛コース分岐	1455m		
8:53	東栗駒山	1405m	1434m	ガス晴れ快晴
9:15~9:20	新湯沢渡渉	1280m		水少なく岩だなを歩く
9:50	いわかがみ平	1110m		郡司さん等をお迎え

○朝5時前に起床。天気は良いが、上のほうにはガスがかかっている。斜め前に一台車が止まっている。今朝早く入ってきたのか、若い夫婦。
 ・アンパン2個で朝食をとり、ゆっくり支度して6:00に出発。
 東栗駒山ルートに登る予定だったが誰もいないし上の方はガスっているので中央コースをとる。このコースはなんと上り口からずっと広く立派な石畳がつづく。まさにハイキングルートだ。道の両側には花も咲いていない、ただひたすら石畳を登る面白くない道だ。
 途中からガスの中に突入、ガレ場の土留めの階段を登ること30分で頂上に到着、7:30。



頂上間近



石畳の登山道

- ・すでに家族連れなど数パーティーがいるが濃いガスと強風で寒いくらい、とても休憩どころではない。
 須川方面・御駒山へ行く予定だったがガスと強風が吹き上げてきてとても行けない。あきらめて下山することにした。
- ・7:50下山開始。東栗駒山ルートをとる。今日は土曜日ということで途中から沢山のパーティーとすれちがうようになった。
 標識を見落としたのか何処が頂上だかわからないうちに東栗駒山を通過。ここまで下るとガスも晴れ周辺の山々の展望も開けてすばらしい。
- ・真夏の太陽を背中に受けて広く開けた高原の道を気持ちよく下る。



栗駒山山頂



新湯沢渡渉

- ・新湯沢渡渉は水が少なく、全く水の中に足を入れることもなく、岩の上传いに無事通過(西沢溪谷に類似)。なかなかきれいな溪谷だった。



郡司さんお迎え

- ・9:50 すでに車で満杯になっている駐車場に到着。
- ・栗駒山を登りに10:10着のバスで郡司さんが今日ここいわかがみ平に来る予定なので、そのバスが来るのを待つ。
 10:05にバスが到着し、郡司と齊藤明夫さんが下りて来た。
 シーズンの土曜日というのに、乗客はあまりいない。
- ・記念撮影の後東栗駒山ルートに登ってゆく二人を見送り、私はこの広い駐車場に容赦なく照りつける真夏の太陽の元でゆっくりと昼食の用意。

- ・コンビニのおにぎりに、トマト、キュウリに味噌汁というメニューだ。食後のコーヒーを飲みながら日記を書いている。
- 11:42に郡司さんから「今東栗駒山で昼食をとっている」とtelあり。
- ・シャツ・靴下を洗濯し、スパッツを水洗し、石の上に広げるとすぐ乾く、強烈な日差し。栗駒山もガスが晴れてきたようだが、ここからは山頂は見えない。



いわかがみ平駐車場

- ・明日は日曜日なので休息日。12:00過ぎに今日の宿泊予定地「道の駅・巖美溪」に向けて出発。
- ・途中「いこいの村・栗駒」に寄って入浴。昨日の「駒の湯」も風情があってよかったが、今日の風呂は石鹸もシャンプーもあり、昨日より100円高い500円だが、やはりこっちのほうが良いね。マッサージ椅子に座ってリラックス、ちょっと眠りに着いた。Good!!



巖美溪

- ・14:00過ぎ栗駒を後にして巖美溪へ。1時間ちょっとで「道の駅・巖美溪」に到着。外は30°Cを越える猛暑。国道に面していて交通量も多いため、かなり賑やかな道の駅だ。
- ・大汗をかきながら巖美溪を小一時間散策した(まあまあの溪谷)。
- ・道の駅の食堂で夕食をとる。道の駅の食堂はレストラン施設がない限りどこでも5:00で終了のため、まだ真昼間だが 4:30に夕食を食べはじめる。ざるそばセット(餅とざるそば)・ビールで乾杯。5時過ぎには食事も終了。あとは寝るだけ。

- ・はじめて賑やかな道の駅での宿泊となる。無線の交信サービスをするそうで、テントを建てたりアンテナを立てたり、人と車があわただしく動いている。
- ・私は広い駐車場の静かな一番すみに車を止めた。

今日は寂しくない夜をすごせるぞ！！



明るいうちから寝る準備